



無所属・無党派

さいたま市議会議員

川村 準

じゅん

市議会レポート

11月号

南区南浦和1-27-11-107
携帯 090-1404-2151
junkawamura@yaho.co.jp

12月議会

皆さんの消費増税分は 議員・市職員の収入増へ？

10月1日から消費税率が10%になりました。一方、12月議会では市長や議員の報酬増、市職員の給与増の議案が審議される可能性が大です。今回の増税は、市長や議員、市職員を裕福にするためだったのでしょうか。12月議会では、報酬増・給与増に反対の観点から議会ですっかり闘いたいと考えています。

6年連続の報酬増

市長と議員の報酬については、特別職報酬等審議会が今後報酬を上げるべきか下げるべきか勧告を出します。

市職員については、人事委員会が給与の増減について勧告を出します。

報酬・給与引き上げに関する議案が出される公算が大きくなっています。一方、消費税率の引き上げが10月1日

選挙前だけ自公民反対

さて、議員の報酬増に関してですが、毎年12月議会頃に議員の報酬増について審議され、ここ6年は基本的に自民、立憲系、公明が賛成して議員の報酬増になっています。

しかし、議員の報酬増が審議会から勧告されているにもかかわらず、議員の報酬増が行われました。消費税引き上げは、幼児教育の無償化など国民のために仕方のない増税だ、と思う市民の方も多

いかもしれません。しかし、12月議会で市長・議員・市職員の報酬・給与引き上げが行われた場合、幼児教育の無償化など市民のための増税でなく、さいたま市の消費増税分の大半が政治家や公務員の収入増に使われることになる可能性が大です。

め議員の報酬増を行っているのが、近年のさいたま市議会の実態です。議員の報酬増が妥当であれば、選挙が当であろうと堂々と報酬増の妥当性を市民に訴えればいいだけです。私は、こういった議会の隠蔽体質含め既存政党と12月議会ですっかり闘っていきま